

第4次佐用町地域福祉推進計画 令和4年度評価に係る評価基準一覧表

【みんなで取り組むこと（住民・自治会・地域づくり協議会等）】

評価点	評価基準
3	多くの住民等が取り組んでいる
2	一部の住民等が取り組んでいる
1	まだまだ住民の理解が不十分である
0	全く取り組めていない

【社会福祉施設・民間事業所が取り組むこと】

評価点	評価基準
3	法人として積極的に取り組み、成果が出ている
2	法人として取り組んでいるが、成果は不十分である
1	現在、取り組み方法等を検討している
0	全く取り組めていない

【社協が取り組むこと】

評価点	評価基準
3	計画どおり進んでいる
2	少し遅れている
1	遅れている
0	全く進んでいない



個人個人の想いや価値観の違いにより、評価点が大きく異なるという課題が見えてきたため、別途社協内部で評価基準を定めた

第4次佐用町地域福祉推進計画 令和4年度評価シート（成果と課題）

基本目標Ⅰ	地域を支える人づくり
活動目標Ⅰ	地域の未来を考えよう！
取り組みの方向性	○自分たちが暮らす地域を見つめよう（10年後の地域をイメージしよう） ○人権や福祉を学ぶ機会をつくろう ○子どもや若者、女性も参加しやすい地域活動をすすめよう

担い手	通し番号	具体的な取り組み内容	点数内訳				平均点	作業部会
			3点	2点	1点	0点		
住民	1	「お互いさま」のまちづくりに向け、福祉について関心を持ち、理解を深め、我が事として考えましょう	4	40	19	0	1.76	2
	2	家庭や自治会内で、どのような地域に暮らしたいかを話し合しましょう	0	20	37	6	1.22	1
	3	行事やイベントを計画する時には、誰でも参加しやすいように配慮しましょう	17	41	5	0	2.19	2
施設	4	地域への出前講座に取り組みましょう	1	1	4	4	0.90	0
	5	職場内で人権や男女共同参画について研修しましょう	2	5	0	3	1.60	1
	6	介護ロボットやICT導入によりサービスの質を向上させ、介護の持続可能性を確保しましょう	8	1	1	0	2.70	3

担い手	通し番号	具体的な取り組み内容	自己評価	1次評価	2次評価
社協	7	地域に出向いて情報を提供します	1	1	3
	8	誰でも参加しやすい研修会や講座の企画をし、関係者と協働して実施します	1	1	2
	9	町内各自治会や各小中学校等の福祉教育を応援します	2	1	2
	10	多くの方々にわかりやすい情報発信をします	3	1	1

成果	・住民のみなさんは、情報把握をされている ・地域では取り組みが始められているが、拡がりについては今一つ（行事等への配慮） ・施設ではICTの導入が進んでいる
課題	・コロナ禍で地域行事が減り、顔を合わせて話し合う機会が減った（施設や社協の出前講座等、地域に出向く機会を上手く活用できれば） ・社協は、広報紙以外の情報発信の工夫が必要（SNS等） ・社協では、各自治会に対する福祉教育をどう取り組むか検討が必要 ・施設や社協は、地域への出前講座を充実させ、その場でも情報提供を！ ・施設では人権（虐待やハラスメント）の研修は実施できているが、男女共同参画についての取組みがあまり進んでいない

第4次佐用町地域福祉推進計画 令和4年度評価シート（成果と課題）

基本目標Ⅰ	地域を支える人づくり
活動目標2	地域活動に参加しよう！
取り組みの方向性	○自治会や地域づくり協議会等の地域活動に積極的に参加しよう ○高齢者の知識と経験を活かした地域活動への参加を促進しよう ○ボランティア活動への関心を高めよう

担 い 手	通 し 番 号	具体的な取り組み内容	点数内訳				平均点	作業 部会
			3点	2点	1点	0点		
住 民	11	いきいき暮らしていくために、健康維持や生きがいづくりに努めましょう	9	45	8	1	1.98	2
	12	「お互いさま」のまちづくりに向け、地域活動に関心を持ち、積極的に参加しましょう	5	43	15	0	1.84	2
	13	趣味や特技、経験を活かしたボランティア活動に参加するため町社協ボランティアセンターに登録しましょう	0	13	32	18	0.92	0
	14	ボランティア活動に参加する気持ちを大切に、ボランティア活動が出来なくても、その活動に対し協力・支援をしましょう	1	35	27	0	1.59	1
	15	地域の行事等を通じて、ボランティアに参加しやすいきっかけをつくりましょう	8	19	33	3	1.51	1
	16	ボランティアグループは、活動の充実を図っていくため活動の周知に努めるとともに、新規のメンバーを増やすための取り組みをしましょう	1	15	29	18	0.98	0
施 設	17	地域にとって必要不可欠な社会福祉施設の役割として、地域における福祉活動に対して積極的に参加しましょう	1	3	2	4	1.10	1
	18	職員が地域活動等に参加しやすい環境をつくりましょう	1	3	3	3	1.20	1
	19	施設内でボランティアが活動しやすい環境をつくりましょう	2	4	3	1	1.70	2

担 い 手	通 し 番 号	具体的な取り組み内容	自己 評価	1次 評価	2次 評価
社 協	20	地域の特性に応じた交流の場づくりをすすめます	2	1	2
	21	各自治会のふれあい・いきいきサロン（ふれあい喫茶）を訪問し、交流を図るとともに運営に関する相談等に応じます	0	0	0
	22	地域活動をすすめる際は、各地域づくり協議会と連携を深めます	1	2	2
	23	ボランティアセンターを多くの住民が気軽に利用できるように、機能の充実を図り、ボランティア活動を支援します	0	0	0
	24	ボランティア活動に関する情報を積極的に提供します	2	1	1
	25	ボランティア養成講座・体験教室を充実させます	2	1	3
	26	町内で活動されているボランティアグループ等について周知するとともに、ボランティア活動の楽しさを伝える取り組みをすすめます	1	1	1
	27	ボランティアグループ等と交流を図り、活動支援や情報交換を行います	1	0	1
	28	ボランティアグループ等がつながる機会を設けます	1	0	0
	29	全職員が積極的に地域のイベント等に参加します	1	1	1

成果	・住民のみなさんは、健康維持や生きがいづくりに取り組みながら、地域活動にも参加されている ・今回の計画でボランティアセンターの機能充実を掲げられており、その点は非常に期待している
課題	・4年間のコロナ禍により、人との交流を止められた影響が大きい（今まで踏ん張ってきたけれど、相当衰弱してきている） ・令和5年度から原点に戻って、各種講座や施設ボランティア、当事者の交流等をやり直す必要がある ・社協は、現在活動されているボランティアグループだけでなく、新規グループの立上げ支援にも尽力する必要がある ・社協は、地域のいろんな取り組みを広報していくことも必要

第4次佐用町地域福祉推進計画 令和4年度評価シート（成果と課題）

基本目標Ⅱ	共に支え合う地域づくり
活動目標3	見守り活動をすすめよう！
取り組みの方向性	○隣近所での声かけ・見守りをすすめ、孤立を防ごう ○民生委員・児童委員や民生・児童協力委員、福祉委員が連携した見守り活動をすすめよう ○気軽に集える居場所づくりをすすめよう

担 い 手	通 し 番 号	具体的な取り組み内容	点数内訳				平均点	作業 部会
			3点	2点	1点	0点		
住 民	30	「お互いさま」のまちづくりに向けて地域で見守りを行い、気になる人には優しく声かけをしましょう	14	48	1	0	2.21	2
	31	日常生活のちょっとしたことで、自分や家族だけでは十分に出来ず困っていることがあったら、隣近所の人たちに支援をお願いしましょう	6	39	17	1	1.79	2
	32	活動で困ったことや気になる人を発見したら、行政や社協等専門機関に相談しましょう	4	35	24	0	1.68	1
	33	自治会や高年クラブ、民生委員・児童委員や民生・児童協力委員、福祉委員等の連携により、ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯、障がいのある人、子育て世帯等の見守り活動をすすめましょう	15	43	5	0	2.16	2
	34	買い物やごみ出し、草取り等の身近な出来ることから助け合いの活動を始めましょう	3	33	23	4	1.56	1
	35	地域で気軽に集える居場所づくりをすすめましょう	6	29	22	6	1.56	1
施 設	36	町内の社会福祉法人が互いに連携して、地域の福祉ニーズに応えるために地域貢献活動に取り組みましょう	2	8	0	0	2.20	2
	37	町が実施する「認知症高齢者等の見守り・SOSネットワーク事業」や「地域見守りネットワーク事業」に協力し、事業所等の活動時にも地域の見守りを行いましょう	3	6	0	1	2.10	2

担 い 手	通 し 番 号	具体的な取り組み内容	自己 評価	1次 評価	2次 評価
社 協	38	各自治会単位での「ご近所福祉ネットワーク活動支援事業」を推進し、自治会内で福祉について話し合う場づくりをすすめます	2	1	2
	39	各地域の生活課題解決に向けての取り組みと、関係専門機関が連携できるように支援します	2	2	2
	40	三者連絡会（民生委員・児童委員、民生・児童協力委員、福祉委員）を開催し、活動者同士が協力しあって活動する関係づくりをすすめます	2	2	3
	41	地域の身近な場所に気軽に集える場づくりを、住民と一緒にすすめます	2	1	3
	42	自治会長や民生委員・児童委員、民生・児童協力委員、福祉委員と連携し、情報共有をすすめます	2	2	3

成果	・見守り活動については、住民も施設も多くの方々の意識は高く、様々な形で取り組まれている ・社協も各種事業を通して、地域での見守り体制構築への取り組みを行った
課題	・『0点』評価（取り組みが不十分）の地区や施設への支援（アプローチ）が必要 ・見守り活動の成果を、社協だより等を使って広報できないか ・福祉委員の意識改革が必要（福祉委員が2年毎に交代する自治会は、ふれあい喫茶しかしていない福祉委員がいる） ・福祉に対する意識の地域間格差があるため、検証が必要

第4次佐用町地域福祉推進計画 令和4年度評価シート（成果と課題）

基本目標Ⅱ	共に支え合う地域づくり
活動目標4	協力し合う体制をつくろう！
取り組みの方向性	○地域の中で情報共有できる場をつくろう ○生活の課題を解決するために、つながり共に活動できる仕組みをつくろう ○お互いに支え合える地域見守り活動を、地域の人みんなですすめよう

担い手	通し番号	具体的な取り組み内容	点数内訳				平均点	作業部会
			3点	2点	1点	0点		
住民	43	暮らしを豊かにするために社会福祉制度やサービスの知識を深め、サービス内容や利用方法に関する情報を地域で共有しましょう	0	18	37	8	1.16	1
	44	自分や家族の情報は、自分たちの命や生活を守るため、必要な範囲で地域活動や福祉活動を行う人、団体、行政機関等に提供しましょう	2	28	26	7	1.40	1
	45	地域での集まりや様々な地域活動や行事を通じて得る、個人情報の取り扱いやプライバシーについては、十分に注意を払いながら情報の交換や共有を図るように努めましょう	5	39	17	2	1.75	2
	46	自治会や地域づくり協議会において、福祉課題やその解決に向けた話し合いの場や機会を作りましょう	3	30	24	6	1.48	1
施設	47	地域行事等を通じた地域の関係者とのネットワークづくりをしましょう	2	2	1	5	1.10	1
	48	地域福祉に関する知識（高齢者、障がい者、認知症等）を地域住民へ普及し、地域の人材育成に協力しましょう	2	2	3	3	1.30	1

担い手	通し番号	具体的な取り組み内容	自己評価	1次評価	2次評価
社協	49	当事者組織や民生委員・児童委員、民生・児童協力委員、福祉委員、ボランティアグループ、福祉サービス事業所等、専門機関と情報交換をしながら、地域での福祉課題等の解決に向け協議する場をつくっていきます	0	0	2
	50	個人情報の共有に関する注意点等をまとめた手引き等を作成し、小地域福祉活動合同説明会や集落座談会、三者連絡会等で周知します	0	0	0
	51	各自治会単位での「ご近所福祉ネットワーク活動支援事業」を推進し、自治会内で福祉について話し合う場をつくっていきます	2	1	2
	52	新型コロナ（COVID-19）禍における「新しい集いの場づくり」を支援していきます	1	1	1
	53	各地域の生活課題解決に向けての取り組みと関係専門機関が連携できるように支援していきます	2	2	2
	54	各地域づくり協議会へ参画し、地域福祉活動の啓発を行うとともに、生活課題等の把握に努めます	2	2	2
	55	三者連絡会を開催し、生活課題等の把握に努めます	2	2	3

成果	・個人情報保護に関する意識は高い ・社協は、生活課題を把握する機会を設けるよう努力している
課題	・広報紙等では限界があるので、口コミで伝わる仕組みづくりが必要（新たな情報提供・周知方法の検討） ・施設は、地域の方々との連携・協働が出来ていない ・社協は、『個人情報の共有に関する注意点等をまとめた手引き』が未作成 ・また、新型コロナ禍における『新しい集いの場づくり』支援については、多様な住民活動と協働しながら検討が必要

第4次佐用町地域福祉推進計画 令和4年度評価シート（成果と課題）

基本目標Ⅲ	生きがいを感じ、安心して暮らせる地域づくり
活動目標5	自分ができることを見つけよう！
取り組みの方向性	○日頃から自主的に健康づくりや生きがいづくりに心がけよう ○いざという時の助け合いや孤独死を防ぐために、普段から隣近所とのつながりをつくっておこう

担 い 手	通 し 番 号	具体的な取り組み内容	点数内訳				平均点	作業 部会
			3点	2点	1点	0点		
住 民	56	暮らしを豊かにするために社会福祉制度やサービスの知識を深め、サービス内容や利用方法に関する情報を地域で共有しましょう	3	25	28	7	1.38	1
	57	町民一人ひとりがいきいき暮らしていくために、スポーツや健康づくり等のイベントに積極的に参加しましょう	2	50	11	0	1.86	2
	58	介護が必要な方や認知症の方、障がいのある方等、生活に困難な課題を持つ方の理解を深めましょう	8	40	15	0	1.89	2
	59	近隣でひきこもりがちな方を誘って、一緒に地域活動に参加しましょう	2	13	34	14	1.05	1
	60	健康診断を定期的に受診し、健康チェックを行いましょう	32	27	4	0	2.44	2
	61	健康づくりや介護予防、運動の習慣化を目的とした体操教室等に参加しましょう	5	38	18	2	1.73	2
施 設	62	地域住民等の集いの場として、実施場所を提供しましょう	1	3	4	2	1.30	1
	63	地域の健康づくり活動に協力しましょう（介護予防教室等）	1	1	4	4	0.90	0
	64	社会福祉施設等が持つ介護技術や知識等を、地域へ還元しましょう	1	3	4	2	1.30	1
	65	介護が必要な方や認知症の方、障がいのある方の理解を広げるため、地域に向けての研修・情報発信、当事者の方との交流の場づくり等に取り組みしましょう	0	4	4	2	1.20	1
	66	生活困窮者支援として、社会福祉施設における中間的就労の場を広げましょう	1	2	2	5	0.90	0

担 い 手	通 し 番 号	具体的な取り組み内容	自己 評価	1次 評価	2次 評価
社 協	67	各自治会単位での「ご近所福祉ネットワーク活動支援事業」を推進し、自治会内で気軽に集える場づくり（ふれあい喫茶等）を支援します	2	1	3
	68	身近な地域で気軽に集まれる、健康づくりや介護予防効果のある居場所づくり等を推進します	2	1	0
	69	外出支援サービス（さよさよサービスや移送サービス）の安定した運行に努めます	3	3	2

成果	・住民の健康に対する意識は、比較的高い
課題	・本当に情報が必要な人は、インターネットやSNSで情報を得るのは難しい（地域内に情報を伝えてくれる人がいるほうが有難い） ・施設は、地域の方々との連携・協働が出来ていない（コロナ禍もあり、受け身である） ・社協は、福祉委員をもっと有効に活用できるように制度を見直し、小地域福祉活動合同説明会で呼びかけを ・ひきこもり支援については、まだまだ家庭や地域での理解が十分とは言えない（今年度から社協としても重点事業に掲げていますが、全国的にも大きな課題となっている） ・中間的就労については、取り組みが進んでいる施設もあるため、ほっとかへんネットでの情報共有や連携を図ることが必要

第4次佐用町地域福祉推進計画 令和4年度評価シート（成果と課題）

基本目標Ⅲ	生きがいを感じ、安心して暮らせる地域づくり
活動目標6	防災力・減災力を高めよう！
取り組みの方向性	○地域でできる防災・減災活動を実践し、たとえ災害が発生しても地域で助け合い、早期に復旧・復興活動が行える体制をつくろう ○災害時に自治会や団体等が連携できる仕組みをつくろう

担 い 手	通 し 番 号	具体的な取り組み内容	点数内訳				平均点	作業 部会
			3点	2点	1点	0点		
住 民	70	地域での防災や減災に関する取り組みに積極的に参加しましょう	12	37	12	2	1.94	2
	71	災害発生時にすぐに対応できるよう、普段から防災情報に注意を払い、防災用品や避難経路、避難場所等を確認しておきましょう	17	37	9	0	2.13	2
	72	日頃から隣近所とお互いに助け合える関係を築きましょう	28	32	2	1	2.38	2
	73	定期的に防災訓練や自治会での話し合いをしましょう	10	29	19	5	1.70	2
	74	自治会や地域づくり協議会の行事等に、認知症の方や障がいのある方等も参加しやすい環境を整えましょう	1	20	34	8	1.22	1
	75	自主防災組織活動を活性化し、災害発生時に対応する人材や役割を確認しましょう	8	27	20	8	1.56	1
	76	町が実施する災害時避難行動要支援者の個別避難計画の作成や活用等に関わる取り組みについて理解し、可能な限り協力しましょう	5	32	22	4	1.60	1
施 設	77	災害発生時、避難行動に支援を必要とする人の情報について、個人情報保護に配慮しながら、地域で可能な範囲で共有し、地域全体で対応できる体制を築きましょう	9	31	21	2	1.75	2
	78	福祉避難所として町と協定を結んでいる施設等は、運用訓練や災害時に避難所としての運用を行いましょう	1	8	0	0	2.11	2
	79	災害等の非常時には、地域の社会資源として災害ボランティア活動に参加しましょう	1	2	2	5	0.90	0
	80	施設の避難訓練や自衛消防訓練に、地域住民の方に参加していただきますよう	1	2	4	3	1.10	1

担 い 手	通 し 番 号	具体的な取り組み内容	自己 評価	1次 評価	2次 評価
社 協	81	災害発生時に活躍できる災害ボランティアの育成と啓発を行います	1	0	1
	82	災害ボランティアセンター運営についてのマニュアルを整備し、同センター設置に向けた訓練を行います	0	0	1
	83	集落座談会の場での意識啓発を行い、災害時に社協と地域が連携する体制構築を目指します	0	0	0
	84	社協の災害時の取り組みを理解いただくため、広報誌等での情報発信をします	1	0	0

成果	・平成21年の水害を経験したこともあり、個人としての防災に対する意識は高い
課題	・自治会や行政等、組織での防災に対する評価が低い（住民個人の“高い”意識に追いついていないことが原因？。それゆえに自治会や行政のやっていることが見えにくい） ・施設は、福祉避難所の協定は結んでいるが、有事の際のシミュレーションまではできていない ・社協は、災害に対する各種取り組みが遅れている（意識的に取り組む必要がある）

第4次佐用町地域福祉推進計画 令和4年度評価シート（成果と課題）

基本目標Ⅳ	地域福祉を支える環境づくり
活動目標7	困った時は相談しよう！
取り組みの方向性	○気軽に相談できる体制を行政、関係機関と一緒につくっていこう ○困っている人を早期発見し、支援につなげることができる仕組みをつくろう ○複雑・複合化したあらゆる相談に対応できる体制をつくろう

担 い 手	通 し 番 号	具体的な取り組み内容	点数内訳				平均点	作業 部会
			3点	2点	1点	0点		
住 民	85	暮らしをよくするため、各種福祉相談や専門相談窓口が、どこにあるかを調べておきましょう	2	37	22	2	1.62	1
	86	困りごとは1人で抱え込まず、早めに相談機関に相談するか、身近で相談できる人に相談しましょう	2	36	24	1	1.62	1
	87	町や社協が発行する広報誌等から情報を得ましょう	37	22	3	1	2.51	2
	88	気軽に相談し合える地域づくりを目指しましょう	11	36	15	1	1.90	2
施 設	89	介護支援専門員や相談支援専門員は、「専門性を活かした相談支援」、「関係機関との連携ネットワークへの参画」等に取り組みましょう	1	6	0	0	2.14	2
	90	社会福祉法人は、佐用町社会福祉法人連絡協議会（ほっとかへんネット・佐用）で実施している福祉総合相談・支援事業に取り組み、ワンストップの相談窓口づくりをすすめるとともに、事業所間の情報交換や相互協力、職員交流、連携強化を行います	3	6	0	1	2.10	2

担 い 手	通 し 番 号	具体的な取り組み内容	自己 評価	1次 評価	2次 評価
社 協	91	困っている人や悩みを抱える人たちの相談に応じられるよう、総合的な相談窓口体制を整えます	1	1	2
	92	多様化した相談に対応するための職員の育成及び資質向上を図ります	1	1	2
	93	職員による相談支援が、地域住民にとってより身近なものになるよう、積極的に地域へ出向いて相談に応じます	1	1	2
	94	適切な支援と事後フォローアップが出来るよう、関係機関との連携を強化します	1	1	2

成果	・施設は、連携しながら相談対応できる体制を構築している
課題	・住民の中には、相談窓口を知らなかったり、地域内の相談できる人がいない方が一定数いる ・民生委員児童委員や福祉委員等は、限られた任期内で住民に相談してもらえるような関係づくりが必要

第4次佐用町地域福祉推進計画 令和4年度評価シート（成果と課題）

基本目標Ⅳ	地域福祉を支える環境づくり
活動目標8	福祉サービスを充実させよう！
取り組みの方向性	○制度やサービスを正しく理解し、必要に応じて積極的に活用しよう ○利用者のニーズと地域の特性を踏まえたサービスを展開しよう ○判断能力が不安な人の生活を支えよう

担 い 手	通 し 番 号	具体的な取り組み内容	点数内訳				平均点	作業 部会
			3点	2点	1点	0点		
住 民	95	地域で暮らしやすくするため、福祉や保健、医療の制度やサービスを正しく理解しましょう	1	46	15	1	1.75	2
	96	自ら必要な情報の収集に努め、自分に必要な福祉サービスを適切に活用しましょう	4	47	12	0	1.87	2
	97	行政や事業者に応じた要望や意思、意見を伝え、自ら適切なサービスを求めましょう	2	32	28	1	1.56	1
	98	支援が必要な方に気付いたら、町や社協へ情報提供を行いましょう	11	37	15	0	1.94	2
施 設	99	地域に開かれた事業活動を目指し、地域における福祉活動に対して、積極的に参加しましょう	0	4	2	4	1.00	1
	100	地域生活支援事業等に取り組み、判断能力が不安な方に福祉サービスが適切に繋がるよう支援していきましょう	2	4	1	2	1.67	2
	101	支援に際しては、関係機関と連携して取り組みましょう	4	4	1	1	2.10	2
	102	地域の方たちにサービス内容を理解してもらうため、施設見学等を積極的に開催しましょう	2	3	2	3	1.40	1
	103	利用者ニーズと地域の特性を踏まえたサービスの展開に努めましょう	4	3	2	1	2.00	2

担 い 手	通 し 番 号	具体的な取り組み内容	自己 評価	1次 評価	2次 評価
社 協	104	広報誌等で、福祉サービス等の分かりやすい情報提供を行うとともに、福祉サービスの充実を図ります	2	1	1
	105	集落座談会を積極的に開催し、福祉サービスや福祉活動に関する情報提供を行います	1	1	0
	106	福祉サービスに関する情報を提供する窓口では、情報提供のみに留まることなく、必要なサービス利用につながるよう十分に配慮します	1	1	3
	107	認知症の方や知的障がい者、精神障がいの方が地域で安心して生活できるよう、日常生活自立支援事業の利用促進に努めるとともに、成年後見制度の内容や利用方法を周知します	1	1	2

成果	・住民の方々は、制度やサービスの理解や利用、行政や社協への情報提供等に対する意識は高い ・施設での困難事例への対応に対するスピード感は向上している ・サービスの質の向上という点では、既存のサービスについては事業者が努力している
課題	・地域で孤立している人、判断能力の低い人が増えているように感じる ・施設は、地域の方々との連携・協働が出来ていない ・佐用町にない新しいサービス（対象者の少ないサービス）への取り組みが不十分 ・社協は、住民の方々へ情報提供する際に、分かりやすくする工夫が必要